

森のあそび

第 140 号

2015 年 7 月 20 日発行

TEL 0193 - 42 - 2111

FAX 0193 - 42 - 3855

発行 大槌町議会

議会報

はだし うんとうかい



もうすぐゴール！まけないぞ！！
(吉里吉里保育園 はだし運動会)

審議された議案
議会の動き

②～③

一般質問の内容

④～⑨

組合議会報告

⑩

園児との交流

⑩

町方地区（御社地）、寺野地区（2工区） 災害公営住宅の建設へ



町方地区（御社地）
災害公営住宅 建築予想図



寺野地区（2工区）
災害公営住宅 建築予想図

第2回定例会

一般質問に6議員が登壇

平成27年第2回定例会は、6月4日から11日までの8日間（休会日含む）の会期で開催されました。今期定例会には、大槌町固定資産評価審査委員会委員の選任に関し同意を求め、大槌町乳幼児、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例の一部改正、財産の取得、27年度の各会計の補正予算など町長提出議案18件、東日本大震災集中復興期間終了後における被災自治体の財政負担を求めの方針の撤回を求める意見書など発議案2件が提出され可決されました。また、一般質問には6議員が登壇し、町当局の姿勢や施策をたえました。

◆議案◆

《財産の取得》

◎財産の取得：町方地区（御社地）に整備を計画している災害公営住宅及び附帯施設（広場・ごみ置き場・店舗用区画等）を11億1900万円で取得しようとするものです。（賛成多数・原案可決）

◎財産の取得：寺野地区（2工区）に整備を計画している災害公営住宅等を

3億3700万円で取得しようとするものです。（全員賛成・原案可決）

《条例の改正》

◎大槌町乳幼児、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例の一部改正：県の乳幼児医療費助成事業の対象者が小学校卒業（助成対象は入院分に限る）まで拡大されることに伴い、所要の改正をしようとするものです。（全員賛成・原案可決）

議会の動き

（4月）

- 8日 議会報編集特別委員会
- 24日 宮古港開港400周年記念（宮古市）

（5月）

- 11日 自由民主党岩手県支部連合会行政視察
- 12日 福島県議会行政視察
- 13日 東部議長会定期総会（大槌町）
- 14日 町村議会議員研修会（盛岡市）
- 15日 総務教民常任委員会協議会
- 18日 産業建設常任委員会協議会
- 19日 大槌商工会通常総会
- 20日 県議長会政務調査会研修会（22日・富山県・石川県）
- 21日 三陸縦貫道自動車道整備促進協議会総会（釜石市）
- 21日 道路縦軸3団体合同総会
- 24日 戦没者追悼式
- 26日 議長・副議長研修会（27日・東京都）
- 28日 自民党ほか道路要望活動（東京都）
- 29日 政務調査会総会
会派代表者会議

審議された議案

《委員の選任》

◎大槌町固定資産評価審査委員会委員の選任に關し同意を求めること…小國榮一氏を選任することに同意を求めます。
(全員賛成・原案可決)



小國委員

《予算》

◎平成27年度大槌町一般会計補正予算(第1号)を定めること…安渡分館建設工事、安渡地区避難ホール建設工事、消防団訓練施設等整備工事、避難路整備事業測量調査業務委託、ふるさと科副読本作成業務委託、源水川周辺環境整備工事などにより補正し、歳入歳出予算から15億8250万円を増額し、予算の総額を521億8250万円とするものです。
(全員賛成・原案可決)

◇報告—*

◎工事請負変更契約締結の専決処分の報告…栄町仮設グラウンド整備工事において、仮設トイレを設置する場所に手洗い場が必要となるため、給水栓を設置するなどの変更が生じたことから、専決処分としたものです。

◎「大槌町教育大綱」策定に係る報告…基本方針である未来の大槌人の育成・文化の再生と知の継承を基に、基本戦略及び重点施策を大槌町教育大綱として位置づけ、町の教育を推進しようとするものです。

(憲法改悪反対岩手県共同センター代表 佐々木良博)

◇発議案—*

◎集団的自衛権の行使容認に反対する意見書の提出…国において戦争のない平和な日本を目指す立場から、現憲法下において集団的自衛権の行使を可能とする全ての立法や政策を行わないように求めたものです。
(賛成多数・原案可決)

◇請願—*

◎立憲主義及び平和主義を否定する「集団的自衛権の行使を容認する閣議決定」を撤回し、集団的自衛権の行使を可能とする全ての立法や政策を行わないことを求める請願

特別委員会の調査報告

25年6月に設置された東日本大震災復興対策特別委員会は、6月定例会最終日に調査結果の報告を行い、調査活動を終了しました。概要は次のとおりです。

震災復興に町議会として積極的貢献を果たすべく、活動を行ってきた。役場旧庁舎の保存問題、新大槌橋の事業推進、復興計画第2期実施計画策定などについて、調査検討し、当局に対し意見具申を行ってきた。

また、22力所の仮設住宅団地を訪問し、被災された多くの町民と懇談し、多岐にわたる要望や、ま

ちづくりへの積極的な提言などを伺うことができた。

三枚堂・大ケ口間のトンネルの必要性を当局に強く訴えたことが緒となり、国への要望活動を当局とともに、26年度に「社会資本整備総合交付金事業(復興枠)」として採択された。

復興のゴールは確実に近づいてはいるが、町民が一体となって取り組むべき課題も山積していることから、改選後においても、議会として引き続き町の復興のために尽力する覚悟を持つていることを申し添え、調査報告とする。

製氷貯水施設の竣工式

製氷貯水施設が完成し、6月22日に竣工式が盛大に執り行われました。

この施設は、製氷能力が1日当たり最大20トン、貯氷能力が500トンとなっており、漁業関係者



能力が拡大された製氷塔

日	内容
1日	議会運営委員会 議員全員協議会
4日	第2回定例会(5/11日) 東日本大震災復興対策特別委員会 議会報編集特別委員会 釜石地区交通安全協会 大槌支部定期総会
5日	県議長会第1回定例会 理事会・臨時総会 (盛岡市)
9日	東日本大震災復興対策特別委員会 産業建設常任委員会 総務教民常任委員会 議会運営委員会
10日	議会運営委員会
11日	議会運営委員会
16日	小槌地区トンネル貫通式 (釜石市)
22日	製氷貯水施設竣工式 議会報編集特別委員会 紫波道路同盟会総会 (花巻市)
24日	



小松 則明 議員

碓川町政の評価は

住民主体の復興まちづくりを推進した

町政の評価と課題について

【問】町長は、町民主体のまちづくりを掲げ、町民と一丸となって作り上げた復興計画に基づき、この4年間新しいまちづくりに向け取り組んできたが、町政の評価と課題は。

【答】（碓川町長）

土地区画整理事業や防災集団移転促進事業で、盛土工事や用地買収を着実に進め、移転先の用地取得を95%まで進ちよくさせるなど、応急仮設団地から新たな団地や災害公営住宅への移行を進めてきた。また、基幹産業である水産業の復興のため漁業学校を開校し、漁

師の担い手の育成や、小中一貫教育体制の整備を図り、27年4月に大槌学園、吉里吉里学園を開校させるなど教育環境の整備にも取り組んできた。

課題は、仮設住宅から一日も早く終の住みかに移転するための取り組みや、産業の復興や企業誘致などの生業の再生であると考えている。

支援や寄附に対する謝意について

【問】町では、震災後に個人や団体、企業などから多大な支援や寄附をいただいているが、どのような形で感謝の気持ちを表しているかとしているのか、町の所見は。

【答】（碓川町長）

震災から今日まで、台湾赤十字、DHCやファイターなどの国内外の企業及び個人の方々から多大なる支援物資や寄附金などをいただいた。

感謝の気持ちの表し方については、一日も早く復興を成し遂げ、町民の生活の再建と、日本全国や世界に誇れる大槌町を築き、国内外に発信していくことだと考えている。

人口増加地区の整備について

【問】東日本大震災津波の被害を免れた地区は、住宅再建が進み、急激に人口が増加している。環境整備や施設整備について、

町の所見は。

【答】（那須復興局長）

町では、現在震災復興を最優先課題としているため、自主再建された被災者が住む地域のインフラ整備が追いついていない状況にある。快適な生活環境を維持するためにインフラ整備は必要であることから、26年度から少しずつ街路灯の設置や道路舗装を実施している。

生業の創出について

【問】震災以降、町では人口流出が進み、若年人口は減少している。近隣の市や町と連携して、通勤圏内に男子型企業を誘致

すべきと考えるが、現在の取り組み状況と今後の対応は。

【答】（碓川町長）

企業からの給与などが家庭の主収入となるような、いわゆる男子型企業の誘致については、自治体間で誘致活動が競合する場合もあることから、個別の誘致における連携を図っていきたい。

は難しいと認識している。今後、開通が見込まれる三陸縦貫自動車道により物流事情の好転が期待され、釜石・大槌地域が高度ものづくり加工の集積地となることが、他地域での企業誘致や正社員雇用の拡大につながるものと認識していることから、近隣市町との連携を

定例会議員出欠表

議席番号	議員氏名	第2回定例会 (6/4～6/11)	
		出席	欠席
1	三浦 諭	4	0
2	芳賀 潤	4	0
3	東梅 守	4	0
5	阿部俊作	4	0
6	東梅康悦	4	0
7	小松則明	4	0
8	里舘裕子	4	0
9	金崎悟朗	4	0
10	後藤高明	4	0
11	岩崎松生	4	0
12	野崎重太	4	0
13	阿部義正	4	0
14	阿部六平	4	0

仮設住宅の集約化は

27年度中に集約計画を策定する



三浦 諭 議員

防災集団移転団地の借地の取り扱いについて

【問】住宅再建時に、民間の金融機関から借り入れをしようとすると、借地については抵当権の設定をすることができないという問題が生じているが、町としての対応は。

【答】（千田民生部長）

借地を選択された上で融資を受けることを検討している方に対しては、金融機関と十分に相談するよう案内をしている。関係機関と連携し、住宅再建相談会などを通じて、各種再建に資する補助金や支援制度の周知徹底に努めていく。



寺野地域の防集団地

屋敷前県営災害公営住宅について

【問】屋敷前に県営で建設を進めている災害公営住宅について、入居募集の反応が芳しくない状況であるが、原因についてどのように分析しているのか。また、今後建設される

災害公営住宅建設における県との連携は。

【答】（那須復興局長）

3DKへの入居条件を1世帯当たり3人以上としていたため、ペット飼育も可能と入居条件を緩和したが、ペットを飼育している世帯は、戸建住宅などに入居したため空きが生じている。

28年3月には、源水大橋が竣工するなど、利便性の高い場所となることから、災害公営住宅の入居を促していく。

今後建設される公営住宅については、間取りの調整を行うなどニーズ変化に対応していく。



27年9月入居予定の災害公営住宅

【問】災害公営住宅完成時には、151世帯が入居するが、町内会の編成方針について、町の見解は。

【答】（碓川町長）

町内会の編成について、真の復興を成し遂げるためには、地域コミュニティの再生は必要不可欠であると捉えている。

地域で支え合い、助け合う組織が必要であることから、27年度の地域復興協議会でも引き続き検討していく。

歩道橋の設置について

【問】源水大橋から三陸沿岸道路に乗り入れる際の県道横断に伴う歩道橋の設置について、現在の進捗状況は。

【答】（那須復興局長）

県道に暫定で接続する交差点について協議を行っている。交差点に歩車分離式の信号機を設置し、安全性に配慮したい。

給食費の収納について

【問】被災世帯について給食費の免除措置が継続されているが、現在の給食費の納付世帯数と収納率の状況は。

【答】（阿部教育部長）

全児童生徒の57.6%が給食費免除対象者である。給食費の収納率は、26年度実績では、99.6%となっている。

仮設住宅の集約について

【問】町では、今後、仮設住宅の集約化を進めていくことになるが、住民への支援策と集約化の時期は。

【答】（碓川町長）

大槌町応急仮設住宅入居者移転補助事業により、移転協力金として10万円、移転費用の上限として10万円を支援する。復興事業の工事着手時期などを勘案し、27年度中に集約計画を策定していく。



東梅 康悦 議員

「がんばる漁業・養殖」事業の終了後は

事業を組み合わせ支援する

漁協・漁業への対応について

【問】大槌町の漁業は、国の「がんばる」事業で震災からの回復の一端を成し遂げてきたが、事業の終了による影響はないか。また、担い手育成支援事業などで漁業者への対応は十分か。

【答】（碓川町長）「がんばる漁業」事業は、災害復旧事業で整備した共同利用漁船、養殖棚、作業保管施設などのハード整備と併せて生産者をソフト面から支援する事業である。事業の目的は、国が経費を助成することで漁業者のリスクを低減させるものであり、期間

は、事業を立て直すまでの原則3年である。漁業者や漁業定置網は、収益が安定してきていることから事業の終了による影響は小さいものと分析している。

事業終了後の対応策は、町の「漁業担い手支援事業」や全国漁業就労者確保育成センターの「担い手確保支援事業」のほか、町の単独事業を組み合わせながら支援していく。

財政調整基金の活用について

【問】25年度末で基金の残高が43億2800万円だが、国への返還義務はあるのか。また、今後のま

ちづくりにどのように活用するのか。

【答】（碓川町長）財政調整基金の積立金は、町税の減収、減免の補てん及び町内で実施される国や県などの復興事業の事業費を基に交付された特別交付税などであり、返還義務はない。特別交付税は、復興に伴う補助事業対象外の単独費の需要を想定して交付されており、単独費の必要な事業は、災害公営住宅事業に係る8分の1の負担や、浸水地以外の道路整備事業などであり、この基金より34億円の充当が予定されている。復興後は、残高予定額

応急仮設住宅の修繕について

【問】建設から4年が経過する応急仮設住宅の基礎に杉などを使用していることから耐久性が心配される。今後の修繕計画は。

【答】（千田民生部長）県では、26年10月から12月にかけて実施したすべての応急仮設住宅の基礎点検の結果を踏まえ、29年度末時点で残存する団地について27年度と28年度の2年で改修工事を実施する予定としている。

改修内容は、木杭の基礎の両側に鋼製の床束の設置と、玄関の階段で雨がかかる部分の床板の更新などである。

大槌町では、全48団地中39団地が木杭を使用している。吉里々々第2、大槌第2から第5及び第8、小槌第5A・5B、小槌第9から第10、及び第12の合計11団地は27年度に、その他の団地については、28年度に工事が予定されている。

運転免許証返還者への対応について

【問】高齢により免許証の更新を断念した場合に、日常生活において多くの

不便が生じてくる。県内の一部の自治体では助成措置があるが、当町においての対応は。

【答】（千田民生部長）近年、認知症による高齢の運転者による交通事故が全国的な問題として取り上げられている。国では、高齢者の運転免許証自主返還の制度や75歳以上の更新者に講習予備検査・講習の受講、受講を義務化するなどの対策が行われている。町では、27年度に高齢者の運転者に対し、二一ズ調査を実施する予定であり、その調査結果を踏まえ、対応策を検討していきたい。

国保基金保有率の目標はあるのか

基金保有率の到達目標はない



阿部俊作議員

新おおつち漁協の
振興策について

【問】新おおつち漁業協同組合の振興策について、経営基盤整備に対する国の補助不採択はなぜか。

また、今後の振興策の現状分析と国・県を交えた議論が必要では。現在のカキの生産状況は。

【答】（碓川町長）

新おおつち漁協は、①被災していない、②旧漁協から債務継承をしていないなどの理由から、補助の要望が認められなかった。今後、新おおつち漁協と協議を行い、魚市場の機能強化に向けた取り組みを行っていく。

カキの生産量は、26年度には震災前を超え58万6000個となり、今後増産が可能であり、需要も見込まれている。

財政調整基金保有率の到達目標について

【問】国民健康保険の財政調整基金について、保有率の到達目標はあるのか。

【答】（千田民生部長）
基金保有率の到達目標はない。国保の安定的持続可能な財政運営が保険者の責務である。

災害公営住宅での騒音問題について

【問】大ケロ災害公営住宅・源水災害公営住宅で

鎮魂の森の内容について

【問】鎮魂の森の規模、位置や維持管理はどのようになっているのか。

【答】（碓川町長）
鎮魂の森は、防潮堤で閉ざされる町方の風景を良くし、震災犠牲者を慰霊する場にと私が発案した。寄付を募って、現在約2億3000万円が寄せられている。

維持管理は、自治会・住民の協力を検討したい。

【問】御社地遺構をどのよう

【答】（高橋総合政策部長）
歴史的価値のある御社地史跡は、町の重要な文化資源である。御社地公園は菊池祖晴の地下遺構が町史跡に指定されていることから、歴史的背景に留意し、文化財としての価値を損なうことのないよう整備していく。

は、プライバシーの権利が守られていないのではないか。URとはどのような話を行なったのか。

【答】（那須復興局長）
UR都市開発機構の施工には瑕疵はない。入居者には、構造・性能に問題は無いこと、生活音の漏れの相談があることを伝え、共同生活の配慮をお願いした。問題は解決していないことから、今後の対応を検討していく。

【問】斎場建設について、建設の予定と町内の職員を解雇し、他市町の業者に委託している理由は。

【答】（千田民生部長）
26年10月から、測量・地質調査・斎場整備基本計画の策定に着手している。

【問】御社地遺構をどのよう

【答】（岡本財政課長）
新しい斎場建設を踏まえ、4月前半に宮本工業所に地質調査・用地測量の業務を委託した。

【問】御社地遺構をどのよう

【答】（澤館総務部長）
職員雇用は委託先の問題ではあるが、確認する。

【問】御社地遺構をどのよう

【答】（高橋総合政策部長）
歴史的価値のある御社地史跡は、町の重要な文化資源である。御社地公園は菊池祖晴の地下遺構が町史跡に指定されていることから、歴史的背景に留意し、文化財としての価値を損なうことのないよう整備していく。

【問】御社地遺構をどのよう

【答】（高橋総合政策部長）
歴史的価値のある御社地史跡は、町の重要な文化資源である。御社地公園は菊池祖晴の地下遺構が町史跡に指定されていることから、歴史的背景に留意し、文化財としての価値を損なうことのないよう整備していく。



震災前後の御社地公園（左：震災後、右：震災前）



芳賀 潤 議員

仮換地の情報提供をすべきでは

近隣住民が互いに確認できるように取り組む

復興事業の自治体負担と今後の事業計画について

【問】復興事業費への地方負担の導入は、被害の大きい自治体ほど負担が増大し、地域の実情を把握しているとは思えない内容だが、当町への影響は。

【答】（碓川町長）

6月3日に28年度以降の対象事業及び水準が示された内容では、社会資本整備総合交付金（復興枠）、3%、復興交付金効果促進事業1.0%となっている。当町への影響額は、事業の実施内容により変動はするが、数億円に上るものと見込んでいます。しかし、派遣職員の人件費などについては、全額

国費による措置となり、国の一定の配慮はなされたものと認識している。必要な予算が確保され、復興事業の遅れが生じないように強く求めていく。

また、県、町村会などとともに、住宅再建に係るさらなる財政措置の拡大などについても要請・要望していく。

水産関連の復興事業の進捗状況について

【問】漁業者の船舶などの復旧事業、魚市場・製氷施設・ふ化場などが完成し、水産加工会社の操業開始にも一定のめどがあったが、新おおつち漁協・個々の漁業者の課題と、解決のための方策は。

【答】（碓川町長）

新おおつち漁協の経営は、新規事業の展開や業務改善を行うための組織体制について脆弱な状態であり、意識改革などを含めた体質強化が重要な課題となっている。また、個々の漁業者の課題は、生産物の価格安定化に向けた対策である。衛生管理の徹底が販売品の高品質化や価格の安定化に繋がるものと考えている。

中長期的に水産業の安定的な経営が可能になるよう、漁業者、団体、事業者や行政とそれぞれの立場で課題を共有し、課題解決に向けた方策を検討し、復興発展期に向けて取り組みを行っていく。

大槌町子ども・子育て支援事業計画の推進について

【問】公立保育所の役割として、子育て支援センター・一時預かり・病後児保育・障がい児保育などの、民間では充分な対応が困難な専門的分野をサポートして、子供と保護者を応援することが望ましいが、町の所見は。

【答】（千田民生部長）

27年3月に作成した大槌町子ども・子育て支援事業計画において、大槌町地域子育て支援センター「かりん」や大槌保育園での一時預かり事業へ継続した支援を行っていくとともに、病後児保育については、釜石市の

「病後児保育室すこやかサポートセンター」を大槌町民も利用できるよう釜石市と協議を進めていくところである。また、障がい児保育については、同計画の重点事業に位置づけ、「もうもう教室」の充実・強化を図るなど、子育てを行う保護者のニーズに、幅広くきめ細やかに対応していく。

仮換地の情報提供について

【問】区画整理事業内の再建希望者から、減歩後の土地では狭く隣地を購入したいなどの要望がある。情報を住民に提供し、多くの住宅再建につなげたが、町の所見と対策は。

【答】（那須復興局長）

仮換地の内容について、事業終了後には法務局で閲覧できるが、事業中は個人情報の取扱いとなる。仮換地された土地は、換地された方の資産であり、公表することはできない。仮換地された方から隣接する土地の所有者などの情報提供を求められることから、今後、町内会や自治会の設立やコミュニティの育成に向けて近隣の方々が集まる機会を設けたいと考えている。

また、下水道や上水道の設置位置に関する意向調査に併せて、住民意向を確認し、仮換地の状況を近隣の方々に確認できる取り組みを進めていく。

地域の労働力確保の取り組み状況は

国や県と連携し職場見学会を開催予定



東梅 守議員

雇用対策について

【問】被災地における求人
と求職が合致しない問題
について、解決に向けた
関係機関との連携による
地域の労働力確保の取
組み状況は。また、今後
予定されている誘致企業
の求人対策は。

【答】（碓川町長）
一般事務・機械組み立
てなどの求職が多いのに
対し、求人は、介護、製
造・加工などと隔たりが
ある。
町内では、介護や障が
い者の支援員、販売員や
調理員などで求職者の不
足が続いている。
求人と求職が合致しな

い問題の解消に向け、毎
月第2・第4木曜日の月
2回、関係機関と連携し
相談会などを行うほか、
毎週更新される求人情報
を町のホームページへ掲
載したり、町民室へ閲覧
求人票の配置を行っている。
また、国や県と連携
し、福祉専門学校を学生
を対象に職場見学会を開
催する予定としている。
今後、建設や水産加工な
ど他の職種にも広げてい
きたい。
今後予定している誘致
企業の求人対策としては、
地元高校生へ企業情報の
提供や情報サイトを利用
し、Uイターン希望者へ
支援を行うことで、労働
力確保に結びつけたい。

住宅再建について

【問】町では、住宅再建に
向けた取り組みとして相
談会を開催しているが、
今までの相談件数や問題
点などを記録しているか。
また、相談会を通じて、
住宅再建に必要と思われ
る支援策についてどのよ
うに考えているか。

【答】（千田民生部長）
26年度に開催した相談
会は、住宅金融支援機構
や弁護士などの協力によ
り、全7回で延べ140
件の相談を受けた。
相談内容や問題点につ
いては、個人ごとに相談
シートに整理し、関係部
署と情報を共有している。
今後の支援策としては、
資材や労務費の上昇が懸
念されることから、被災
者生活再建支援金の増額
や取り崩し可能な基金を
住宅施策に柔軟に活用で
きる制度設計と、基金の
拡充が必要と認識してい
ることから、国や県に要
望を行っていく。

大槌町消防団

消防演習

第三分団副団長

芳賀 潤 議員

27年6月7日に栄町仮設
グラウンドにおいて、大
槌町消防団の総合演習が
開催されました。5年ぶ
りに屋外での開催となっ
た演習には、町議会議員
であり、現職の消防団員
である小松則明（第一分
団副団長）、三浦論（第
一分団二部団員）と私が
参加しました。

震災以来、ボランティア
やNPOといった営利
を目的としない諸活動が

注目されていますが、消
防団組織の諸活動は、伝
統のある最も有意義な団
体の一つであると思っ
ています。

大槌町消防団も東日本
大震災時には、団員の殉
職や分団屯所の流出など
と多くの犠牲を伴いまし
た。

震災前と同じように屋
外での開催となった今回
の演習は、少しずつでは
ありますが、平常に戻る
一歩と感じました。
町民の生命と財産を守
る消防団とその活動に対
しては、今後更に議会と
しても応援していきます。



大槌消防団の消防演習風景

岩手県沿岸知的
障害児施設組合

東梅 守議員報告

去る3月19日に定例会を開催し、会期は1日、付議事件3件はいずれも原案のとおり可決、承認されました。

27年度岩手県沿岸知的障害児施設組合一般会計予算については、歳入歳出予算の総額を1億9099万円とするもので、原案のとおり可決されました。

岩手県沿岸知的障害児施設組合職員の再任用に関する条例について原案のとおり可決されました。

【訂正】
議会報139号14ページ、岩手沿岸南部広域環境組合の報告者が「東梅守議員報告」とありますが、正しくは「岩崎松生議員報告」でした。おわびして訂正いたします。

次代を担う子供たちと編集委員との交流



みんなのダンスがうまくてビックリしたよ♪



吉里吉里保育園の皆さん

★タイトル作成者★
表紙の「おおつち」を書いてくれた吉里吉里保育園の皆さんです。上手に折り紙で作ってくれたね。どうもありがとう。

東日本大震災で園舎が全壊しましたが、多くの方々のご支援を受けて26年8月には、新園舎が完成し、現在は越郷の丘で保育を行っておりま

6月には、園庭ではだし運動会を実施することができました。しっかりと地面を踏み蹴り進む姿は見る人に笑顔と感動を与えてくれました。



マジックたのしんでもらえたかな？

編集後記

▼議会報140号をもちまして、我々議会報編集委員会委員5名としての活動は終了となりますが、関係各位におかれましては、多大なるご厚意を賜りまして、どうもありがとうございました。

この度、議会議員の取り組みとして、保育園や幼稚園の園児たちの笑顔を町民の皆様に届けるべく子供たちの姿を表紙に取り入れてみました。少しでも町民の皆様に元気を届けたいと思っております。また、議会議員として、一日も早く大槌町の復興を願い、今後とも前進していく覚悟であります。

(委員長 金崎悟朗)

▼皆様に親しんで頂ける議会報となるよう、2年間副委員長として務めて参りましたが、任期中最後の議会報となりました。

表紙には、町内の保育園・幼稚園の行事などの写真に掲載するに当たり、保護者、関係者、お子様など皆様のご協力を頂きまして誠にありがとうございました。

将来を担うお子様方、町民の皆様のご健康を願い一日も早く復興を成し遂げられるよう、努力してまいります。また、読みやすい議会報で情報発信できますよう、今後ともご指導のほどよろしくお願いたします。

(副委員長 三浦 諭)

- 議会報編集特別委員会
- 委員長 金崎悟朗
 - 副委員長 三浦 諭
 - 委員 芳賀 潤
 - 委員 東梅 守
 - 委員 阿部俊作